

# 研究生生活紹介 — 女子大学院生version

part2

奈良先端科学技術大学院大学 男女共同参画室



バイオサイエンス研究科

情報科学研究科

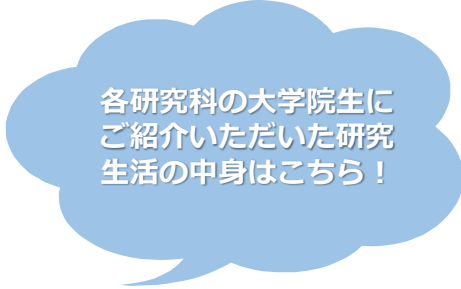
物質創成科学研究科



奈良先端科学技術大学院大学  
受験生のためのオープンキャンパス2017

# index

|                               |         |
|-------------------------------|---------|
| 情報科学研究科 博士後期課程<br>榎原絵里奈さん     | ..... 3 |
| バイオサイエンス研究科 博士前期課程<br>西尾美紀さん  | .....17 |
| 物質創成科学研究科 博士前期課程<br>茂川香澄さん    | .....31 |
| ・ 自己紹介                        |         |
| ・ NAISTに進学した理由                |         |
| ・ 研究紹介                        |         |
| ・ 研究室紹介                       |         |
| ・ 一日のスケジュール                   |         |
| ・ 研究室設備                       |         |
| ・ リフレッシュスペース                  |         |
| ・ 研究室イベント (ON/OFF)            |         |
| ・ 学会参加について                    |         |
| ・ 寮生活について                     |         |
| ・ 国際交流・課外活動について               |         |
| 女子大学院生の在籍割合 (2016年10月1日現在)    | .....43 |
| 学生宿舎の男女別入居状況など (2016年10月1日現在) | .....43 |



各研究科の大学院生に  
ご紹介いただいた研究  
生活の中身はこちら！

# 情報科学研究科 博士後期課程 (ソフトウェア設計学研究室)

情報の例を  
ご紹介します！

榎原 絵里奈

# 自己紹介

- 学年：博士後期課程2年
- 出身地：佐賀県
- 経歴：  
大阪工業大学情報科学部情報システム科卒業  
→NAIST修士→NAIST博士後期課程
- 大学での研究：Androidアプリの開発
  - 栄養管理支援を目的としたAndroidアプリの開発
- 大学院での研究：ソフトウェア工学教育
  - 学生のプログラミング行動の分析及び支援



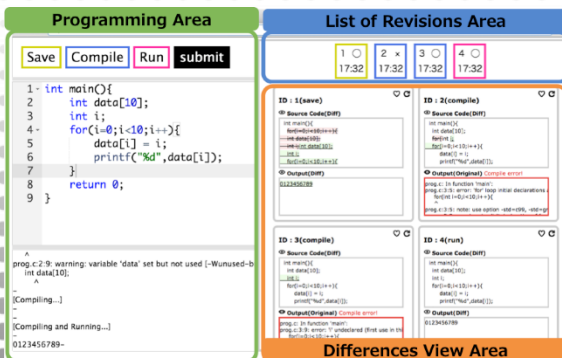
# NAISTに進学した理由

- 大学時代の指導教員からの推薦
  - ソフトウェア工学に関して、より充実した環境で研究が可能という理由で推薦してくださいました。
- 金銭面
  - 大学が私学だったため、大学院進学後は授業料をできるだけ抑えたいと考えました。
  - また、オープンキャンパスなどをとおして、NAISTは第一種奨学金(返済時に無利子のもの)の給与率が高いことや、TA・RA制度が充実していることなどをお伺いし、進学を決めました。

\* 経済支援などについては本学のHPに詳細があります：  
<http://www.naist.jp/campuslife/support/introduction.html>

# 研究紹介： プログラミング行動の分析及び支援

- プログラミング行動という、プログラミングを行うにあたっての様々な振る舞いに着目しています。
  - プログラミング行動の例：入力・削除された文字や文、コンパイル・実行時のソースコードの内容、コンパイル・実行結果、その結果を受けて行われた修正内容、等
- プログラミング行動を可視化し、簡単に手戻りを可能にすることで、プログラミングを行う上での、失敗した時のやり直しや新たなアプローチを容易にすることを目的としています。



左図は開発したプログラミング行動収集ツールです。評価実験を行うにあたって、NAIST内だけではなく、大阪府立大学工業高等専門学校の、実際のプログラミング演習で使っていただいたこともあります。

# 一日のスケジュール

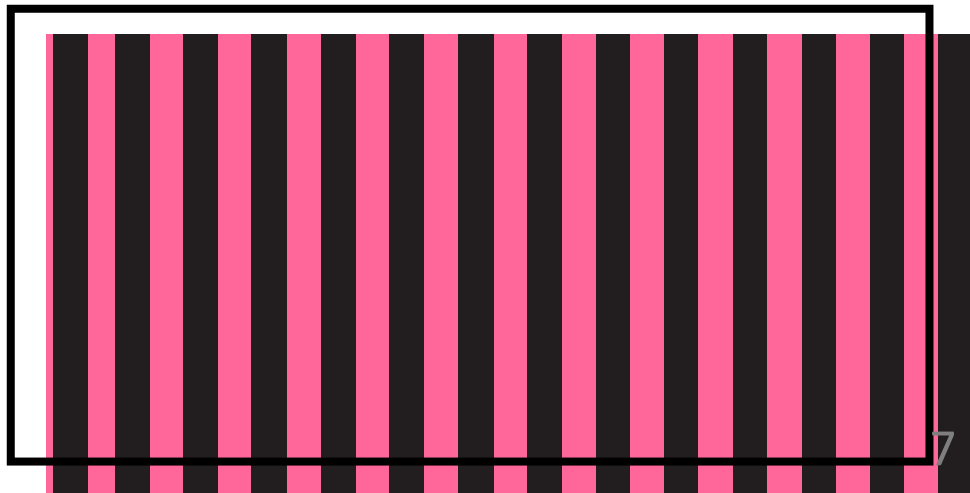
| 時間    | (1)通常 | (2)非常勤がある日 |
|-------|-------|------------|
| 06:00 | 睡眠    | 起床・食事      |
| 07:00 | 睡眠    | 準備         |
| 08:00 | 起床・食事 | 非常勤        |
| 09:00 | 準備・通学 |            |
| 10:00 | 研究    |            |
| 11:00 | 研究    |            |
| 12:00 | 休憩    | 帰宅、通学、休憩   |
| 13:00 | 休憩    |            |
| 14:00 | 研究    |            |
| 15:00 | 研究    | ミーティング①    |
| 16:00 | 休憩    | 休憩         |
| 17:00 | 休憩    | ミーティング②    |
| 18:00 | 研究    | ミーティング③    |
| 19:00 | 研究    | 帰宅・休憩      |
| 20:00 | 帰宅・休憩 | 自由時間       |
| 21:00 |       |            |
| 22:00 | 自由時間  | 睡眠         |
| 23:00 |       |            |
| 00:00 |       |            |
| 01:00 |       |            |
| 02:00 |       |            |
| 03:00 | 睡眠    | 睡眠         |
| 04:00 | 睡眠    |            |
| 05:00 | 睡眠    |            |

## (1)通常

研究室によりますが、本研究室はコアタイムはありません。朝方、夜型、アルバイトが有る日、授業が多い日等、自分のペースに併せて研究を行うことが可能です。

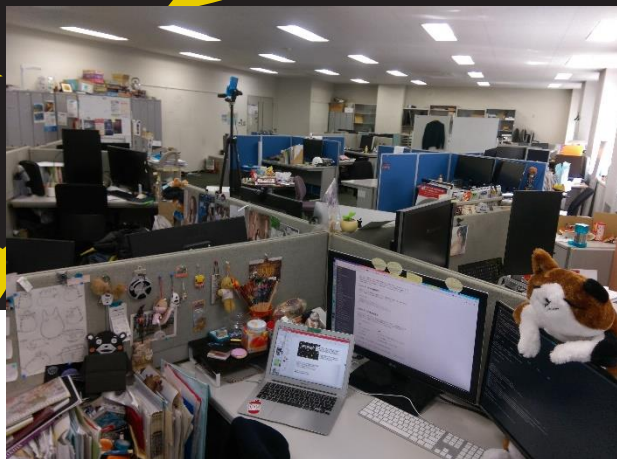
## (2)非常勤がある日

他大学で週1回非常勤講師を努めています。この日は喋る日と決めて、研究ミーティングを多めに入れていきます。



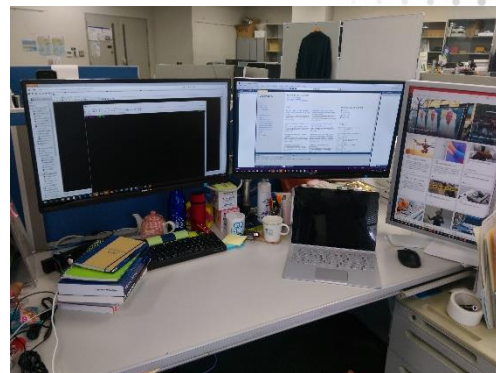
# 研究室紹介

教員・研究員方: 8名(教授、准教授、客員准教授2名、  
助教2名(1)、博士研究員2名(1))、秘書さん: 2名(2)  
学生: 14名(博士前期課程7名、博士後期過程7名(1))  
※人数横の()内数値は女性の人数



(左)本研究室は各学生の机が風車状に設置されています。そのため、自席を広々と使うことが可能です。

(右上)また、ディスプレイ等研究に必要なPC機器が充実しているのも本研究室の特徴です。1人あたり2、3枚のディスプレイ+タブレットやノートパソコンを配給していただいています。



(右下)ミーティングルームです。発表練習もこの部屋で行います。





# 研究室設備

(右)電子レンジ、冷蔵庫等、生活に必要なものは一通り揃っています。  
ホットプレートやたこ焼き器も2つあり、  
留学生の歓迎会などは研究室で行う  
ことも多いです。



(左)コーヒーや紅茶は研究室全メンバー  
でお金を出し合って充実させています。



# 休日の過ごし方

- 旅行、運動、映画など、休日は趣味に没頭しています。
- 男女問わず、出身大学の同期や、NAISTの同期、NAISTの参加しているプロジェクトで知り合った他大学の同期とは、向こうが就職した今でも頻繁に旅行やご飯へ行きます。



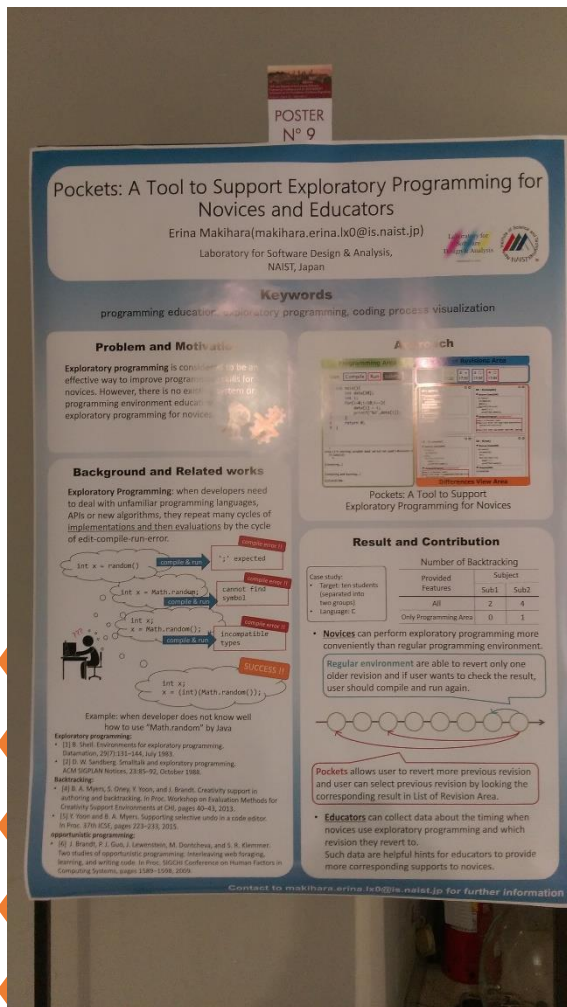
# 研究室イベント

- 年に1、2回インターンシップとして様々な国から留学生が来られます。
- 歓迎会、送別会、忘年会などで年数回宴会を行います。
- 年に1回研究室旅行も開催されます。場所は城崎温泉、伊勢志摩、四国などその年で違います。



# 学会参加@イタリア・ベルガモ

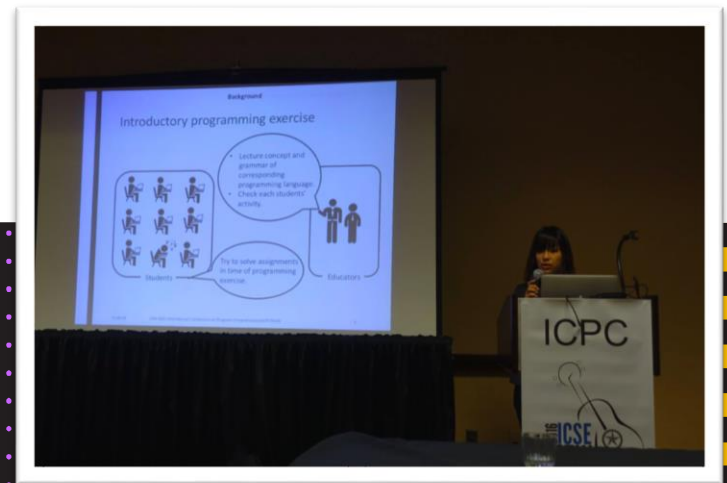
初めての国際会議でした。学会は10th Joint Meeting of the European Software Engineering Conference and the ACM SIGSOFT Symposium on the Foundations of Software Engineering(ESEC/FSE2015)と言うもので、Student Research Competition(論文+ポスター発表)セッションで発表しました。



# 学会参加@アメリカ・オーステイン

24th IEEE International Conference on Program Comprehension 2016 (ICPC2016) ではプレゼン発表を行いました。

また、本会議でソフトウェアの最も権威のある会議である International Conference on Software Engineering 2016 にも初めて参加させていただきました。



# 学会参加について

- 人によりますが、年に1～3本程国際会議へ投稿します。
  - 他にも2～4本程国内会議へ、1、2本論文誌へ投稿します。
  - 投稿後、実際に再録されるのはもっと少なくなります。
- 私は英語は苦手ですが、英語論文を読んだり、留学したり、研究室の留学生と交流することで自然と鍛えられています。
  - 特に、留学では英語を話すための度胸を養うことが重視されました。
- 旅費や参加費は、助成金や奨学金などで援助を頂くことがほとんどです。
- ソフトウェア工学分野は、国内問わず女性は少ないですが、その分交流がしやすくもあります。

# 他NAISTの情報

- 学祭がない
  - その分(?), 年1回有志による研究科合同イベントや駅伝大会、卓球大会などが開催されており、研究科を通して交流できます。
- 地域交流が多い
  - 地域の学生、一般の方を対象に、先端科学を体験できるプログラム(サイエンスフェスティバル)が11月のオープンキャンパス時に行われます。
  - 加えて、本研究室は年1、2回NAISTサイエンス塾という、地域の小学生向け科学教室の講師を担当し、LEGOを用いたプログラミングを教えています(右図)。



# 国際交流・課外活動など

- 博士前期課程2年時へカセサート大学@タイへ、博士後期課程1年時にハンバット大学@韓国へインターンシップ生として滞在しました。
- 各大学の教授、学生さんとの交流は今でも続いています。
  - 教授や学生さんが日本へ来られた際は一緒に食事や観光へ行きます。





# バイオサイエンス科学研究科 博士前期課程 (機能ゲノム医学研究室)

バイオの例を  
ご紹介します！

西尾 美紀

# 自己紹介

- 学年：博士前期課程 2年
- 出身地：大阪
- 経歴：近畿大学農学部応用生命化学科卒業

→現在 (NAIST M2)

- 大学での研究  
：微生物由来の酵素の研究



コンドロイチン硫酸を分解する微生物

- 大学院での研究  
：ES細胞を用いたマウス由来の転写因子の研究



# NAISTに進学した理由

- 金銭的に学生として研究を続けやすい

(Ex. 国立なので私立と比べて授業料が安い、単身寮は共益費込で1万円、第一種奨学金の給与率が高いなど)

- 一から研究テーマを考え、選び直せる

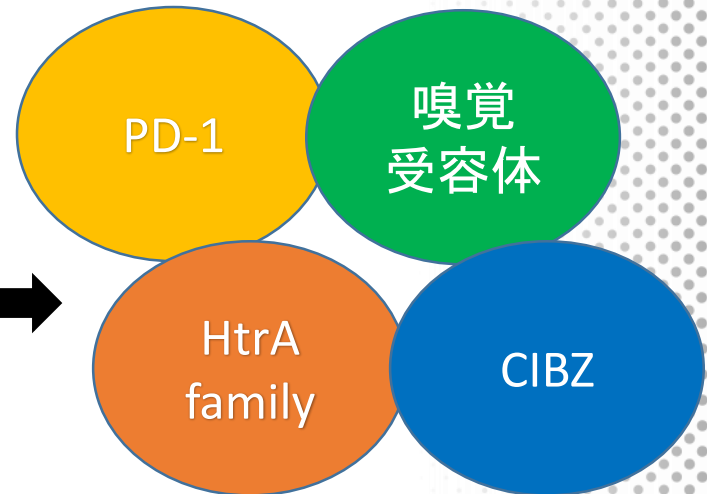
(入学後、実際に全ての研究室の先生方の講義を聞いてから研究室を選べるので、選択肢の幅が広がる)

# 研究室紹介

| 准教授          | 助教           |              |       |
|--------------|--------------|--------------|-------|
| 1            | 3 (2)        | ( )内は女性の人数   |       |
| 博士後期<br>課程1年 | 博士前期<br>課程2年 | 博士前期<br>課程1年 | 留学生   |
| 2            | 5 (4)        | 4 (1)        | 3 (3) |

4つ研究グループから構成されています  
(同じ研究室でも様々な研究内容があります)

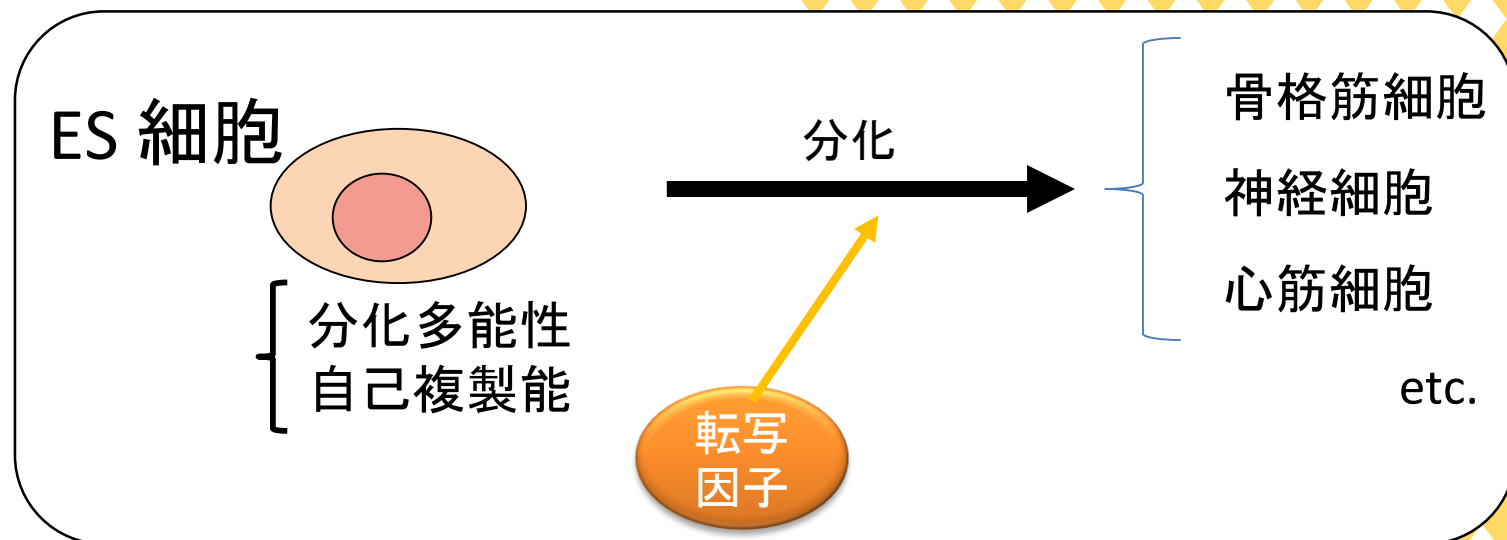
詳しくはHPで！ →<http://bsw3.naist.jp/ishida/>



## 研究室全体のルーティン

- ・ 3研究室合同のD/J (data or journal) セミナー (週一)
  - ・ プロGRESSミーティング (週一)
- (これ以外に、それぞれのグループごとに  
グループミーティングがよく行われています。)

# 研究紹介



‘ES細胞’は、自己複製する能力(自己複製能)と様々な体の器官になることのできる能力(分化多能性)を持っています。その分化の過程では、様々な転写因子と呼ばれるタンパク質による遺伝子の発現制御を受けています。

私は、転写因子の一つであるCIBZがES細胞の分化(特に神経への分化)にどのように関与するのかを調べています。

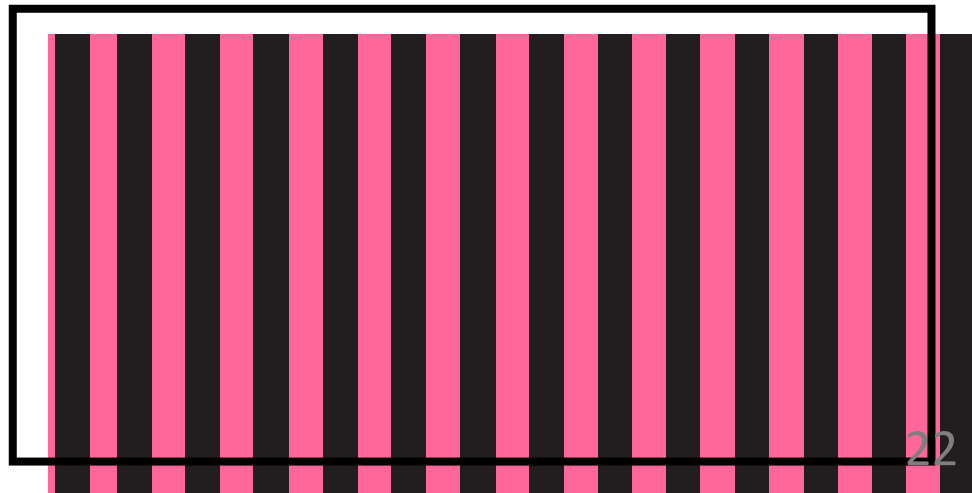
この研究が、再生医療などに少しでも役立てば、と思いながら日々研究を行っています。

# 一日のスケジュール

|       | Aさん(通学) | Bさん(寮) | Cさん(寮) |
|-------|---------|--------|--------|
| 6:00  | 起床・支度等  | フリー    | フリー    |
| 7:00  |         |        |        |
| 8:00  | 通学      | 起床・支度等 |        |
| 9:00  |         |        |        |
| 10:00 | 研究室     | 研究室    |        |
| 11:00 |         |        |        |
| 12:00 | 食事      | 食事     |        |
| 13:00 |         |        |        |
| 14:00 | 研究室     | 研究室    |        |
| 15:00 |         |        |        |
| 16:00 |         |        |        |
| 17:00 |         |        |        |
| 18:00 |         |        |        |
| 19:00 | 通学      | 食事     | 食事     |
| 20:00 |         |        |        |
| 21:00 | フリー     | 研究室    | 研究室    |
| 22:00 |         |        |        |
| 23:00 |         | フリー    | フリー    |
| 0:00  |         |        |        |
| 1:00  |         |        |        |
| 2:00  | フリー     | フリー    |        |
| 3:00  |         |        |        |
| 4:00  |         |        |        |
| 5:00  |         |        |        |

・研究室によってコアタイムは様々ですが、どの研究室も比較的自分のペースで研究ができます。  
 (私の研究室は、厳密なコアタイムはありませんが、毎朝ミーティングがあり、就業開始時間が決まっている研究室などもあります)

・土日は、バイトをする人もいれば、さらに実験をしたり、データ整理をしたりする人、遊びに出かける人と様々です。



# 研究室設備

1人に1つずつ、デスク(右)と実験台(左)が割り当てられます。



デスク



実験台



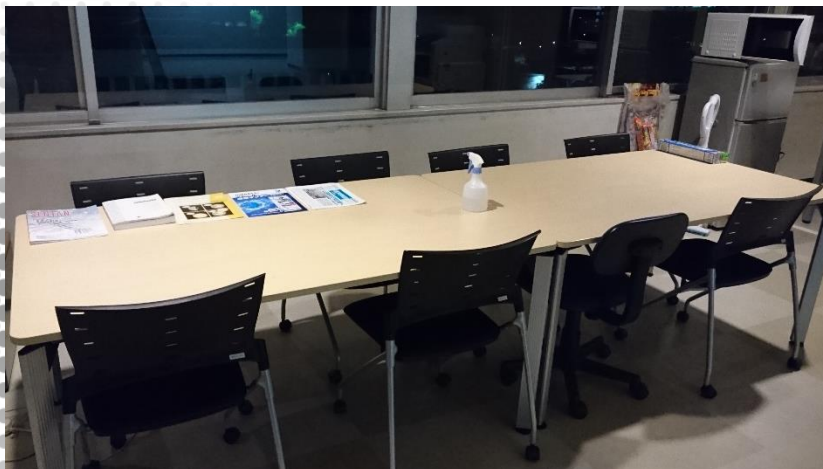
各研究室の設備、共通機器は充実していて、不自由に感じることはまず無いと思います。



# リフレッシュルーム(リフレ)



- 各フロアにあり、同じフロアの研究室と共有です。
- 研究のディスカッションやグループミーティング等にも利用します。
- 食事、休憩、宴会時にも利用します。
- 帰るのが遅くなってしまい、ここで仮眠している男性もたまに見かけます。





# リフレの設備

普段の自炊から宴会まで、  
困らないくらいに設備が充実しています。



Ex.) IH、電子レンジ、炊飯器、トースター、ポット、冷蔵庫  
鍋、フライパン、ホットプレート、たこ焼き器、食器類、調理器具など



寮に住んでいると、リフレの存在  
は大きいです。  
毎日一人でさみしく晩御飯、  
なんてことにならなくてすみます。



# 研究室イベント

## 学内のスポーツ大会

今年度は、ソフトボール大会で優勝しました！  
(Ex. バレーボール大会、ソフトボール大会など)



どの研究室も、研究とそれ+αの  
イベントをエンジョイしてます！

## ゼミ旅行

今年は日帰りで、  
伊勢まで行きました。



## 宴会

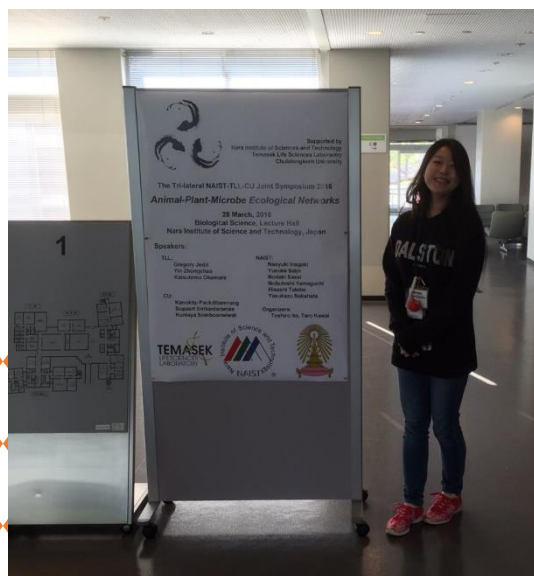
忘年会、新年会、歓送迎会など。  
(お店に行くこともありますし、  
リフレを利用することもあります。)



# 学会参加

- ・学会の頻度は、研究室、個人によって様々です。
- ・生物系は比較的女子の割合も多く、3~4割ぐらいは女性がいる印象です。

2015年 12月『日本分子生物学会』（神戸）→

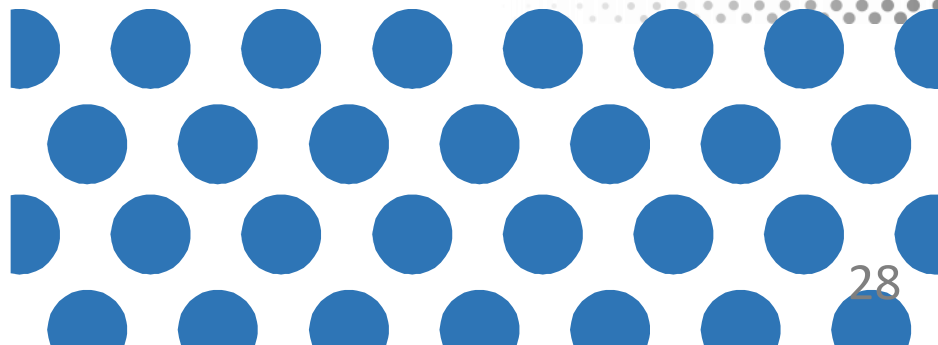


←2016年 3月『The Tri-lateral NAIST-TLL-CU joint Symposium』（NAIST）

その他、今年の3月に『日本農芸化学会』（京都）で、発表を予定しています。

# 国際交流・バイオなど

- 各研究室に一人以上は留学生がいるので、必然的に英語を使う機会も多いです。(稀にいない場合もあります。)
  - 博士後期課程に進む場合は、サマーキャンプへの参加があります。(M2～D2の学生の研究発表会とヒアリング。D2では英語での口頭発表有り)
  - アメリカ合衆国カリフォルニア大学もしくはニュージーランドへの約1ヶ月の留学(研究室滞在または、語学留学)
- 【その他にも国際学生ワークショップや定期的な国内外の著名な研究者を招いてのセミナーもあります。】



# フリータイム



- 実験の後やお昼休憩に、同じ研究室の女子とご飯やカフェに行くこともあります。



- 研究室の同期で月1回、担当を決めてリフレで料理をして、食べます。

- 男女問わず、出身大学の同期や、NAISTの同期と小旅行やご飯へ行きます。  
(1年の前半は、授業でグループワークも多くあるので、友だちも増えます。)



# 学生宿舎に住んでみて



## 良いところ

- 学校の敷地内にあるので、通学が安全！  
(宿舎の建物はオートロックになっています。)  
(研究室に着くまでに10分もかからないので、朝の支度もゆっくりできます。)
- 各棟の1階にあるラウンジが、利用可能です。  
(テレビを見たり、勉強会をしたり、みんなで集まってパーティーをしたり様々です。)

## 悪いところ

- 車、原付きバイク、電動自転車などの移動手段があった方が便利です。  
(近くのスーパーが、歩いて20分のイオンや坂の上もしくは坂を越えていかなければならないところにあります)
- お風呂に行くまでに、部屋の外の廊下を通らないといけないので、冬は防寒対策が必須です。  
(私は、脱衣所に小さいヒーターを持ち込んでいます。)

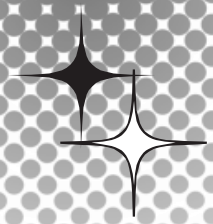


一棟のラウンジ

# 物質創成科学研究科 博士前期課程 (光情報分子科学研究室)

物質の例を  
ご紹介します！

茂川 香澄



# 自己紹介

- 学年： 博士前期課程1年
- 出身地： 兵庫県
- 経歴：奈良女子大学 理学部 化学科
- 大学での研究：  
トリプトファン含有疎水性ペプチドの $\text{NaHSO}_3$ による可溶化と質量分析
- 大学院での研究：  
ナノ粒子-イオン液体複合体の構造評価



# NAISTに進学した理由

## ➤ 専門分野を変えたかった

- 学部では分析をメインとして研究していたが、合成から評価までを行いたいと思ったため
- 具体的にどの研究室に行くかを入学後に決めることができるため

## ➤ 環境を変えたかった

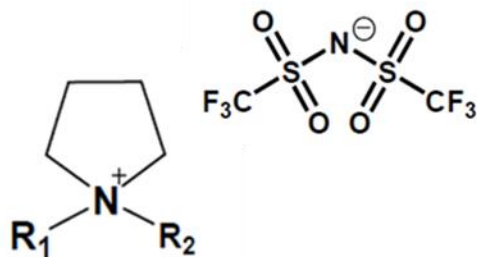
- 研究設備が整っているところで様々な手法を用いて研究に取り組みたいと思ったため
- 全員が新しいテーマで研究を進めるので、研究や人間関係に対する不安が他大学に行くよりも小さく感じたため



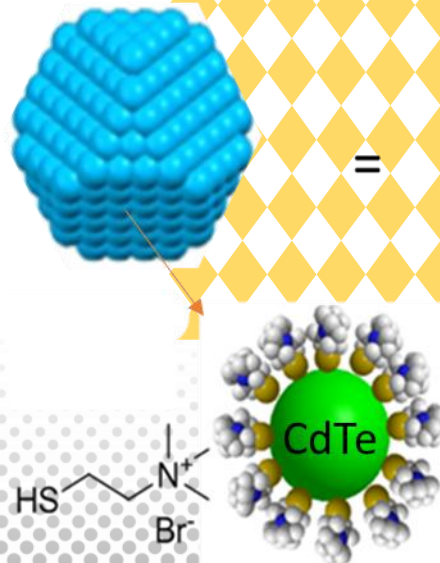
# 研究紹介

## ～有機無機複合材料の構造評価～

イオン液体とナノ粒子の複合材料



$R_1$ : methyl  
 $R_2$ : ethyl ( $P_{12}$ )  
propyl ( $P_{13}$ )  
butyl ( $P_{14}$ )  
octyl ( $P_{18}$ )



How about  
Optical property  
State of aggregation

# 光情報分子科学研究室

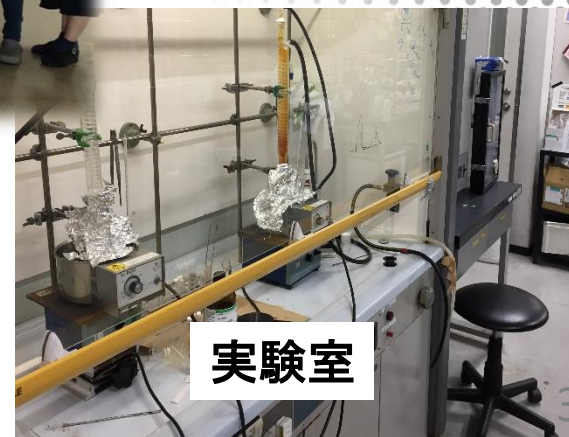
教員: 3名  
特任助教: 1名  
技術補佐員: 4名  
秘書: 1名  
学生: 21名(男性18名, 女性3名)



居室



測定室



実験室



# ある日のスケジュール

| Time  | Schedule  |
|-------|-----------|
| ~9:00 | 登校        |
| 9:20  | 研究準備(当番制) |
| 10:00 | 実験        |
| 11:00 |           |
| 12:00 | 昼食        |
| 13:00 | 実験        |
| 14:00 |           |
| 15:00 |           |
| 16:00 |           |
| 17:00 |           |
| 18:00 |           |
| 19:00 | 帰宅        |

本研究室では、毎朝溶媒汲みや器具の片付けなど研究を行うための準備をします。

昼食は主に食堂で、研究室のメンバー以外にも他の研究室の友人と食べたりします。



# 研究室設備

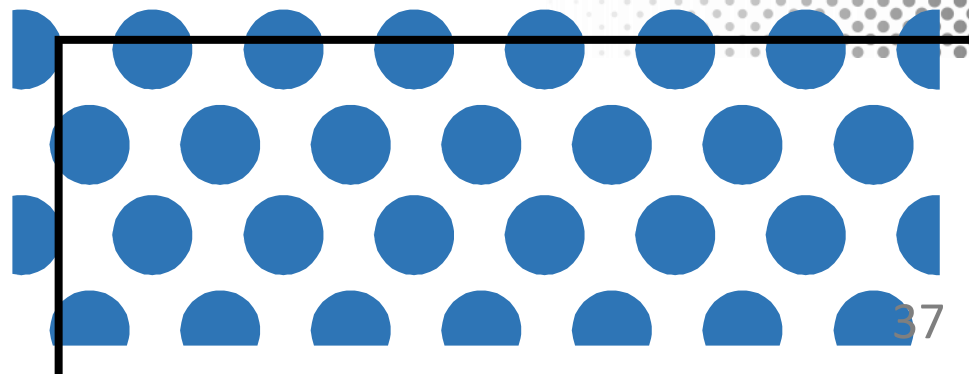
隣の研究室と共有のスペースが各階にあります。  
ご飯を食べたり、休憩時に使用しています。



リフレッシュルーム



冷蔵庫や電子レンジなども  
共同で利用できます。



# 休日の過ごし方

- アルバイト
- 大学時代の友人と過ごす
- 研究室のメンバーと過ごす



# 研究室イベント

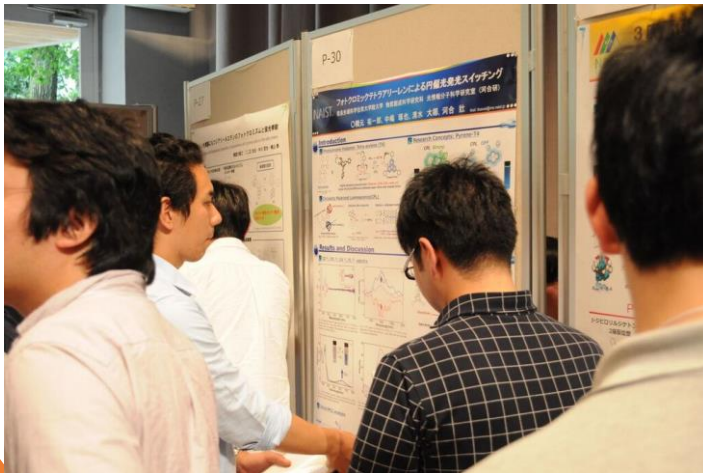


週報  
中間報告会  
雑誌会  
勉強会

- 歓送迎会、BBQ、忘年会などの宴会
  - 研究室旅行(年に1回)
  - 各種スポーツ大会
  - お誕生日会
- など、イベントは多いです！

# 学会参加

学会発表の機会の多さは研究室によって様々です!!  
研究を発表する機会は学会以外にも、オープンキャンパスなど学内でもあります。



博士後期課程進学者は特に、国際学会や国内での学会発表の機会がたくさんあります。





# 国際交流



毎週火曜日のお昼に留学生やオーストラリア出身の先生と英会話を楽しんでいます。

NAISTには留学生が多く、海外との行き来が非常に盛んです。機会があれば、国際学会や海外インターンシップにも参加することができます。



本研究室は、留学生や海外からのインターン生多く交流が盛んに行われています。



# 私が見たNAIST

- 保健管理センターがとても充実している！  
(女性のスタッフがいる、薬がもらえる)
- ほぼ全ての建物や設備がきれい  
(割と新しい大学であるため)
- 留学生が多い
- 研究設備が整っている  
(装置が多い)

勝手に

## Q&A

□ 研究室に女子がいなかったらどうしよう？

→秘書さんや技術補佐員さんに女性が多いので、心配ありません。

研究室の枠を越えたイベントもあり、他の研究室とのつながりを作ることができます。

□ 研究室配属が遅いが、就活に支障は？

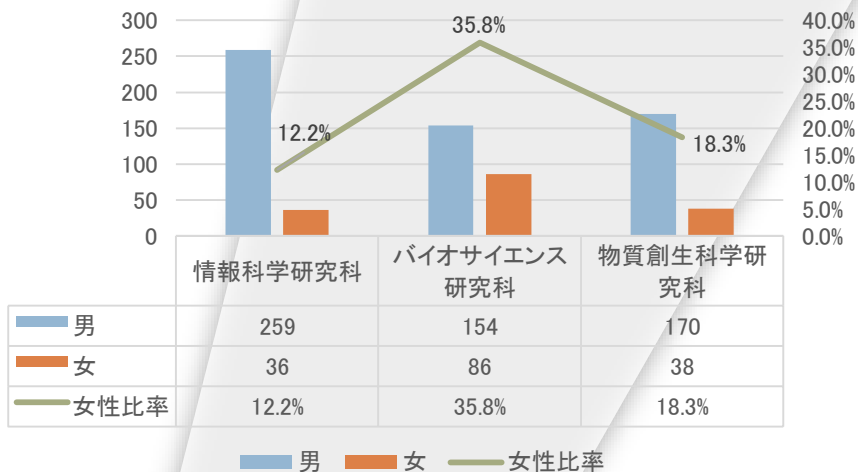
→NAISTではセミナーやOBOGによる業界、企業研究会が多数ある。

先輩の手堅いサポートがある。

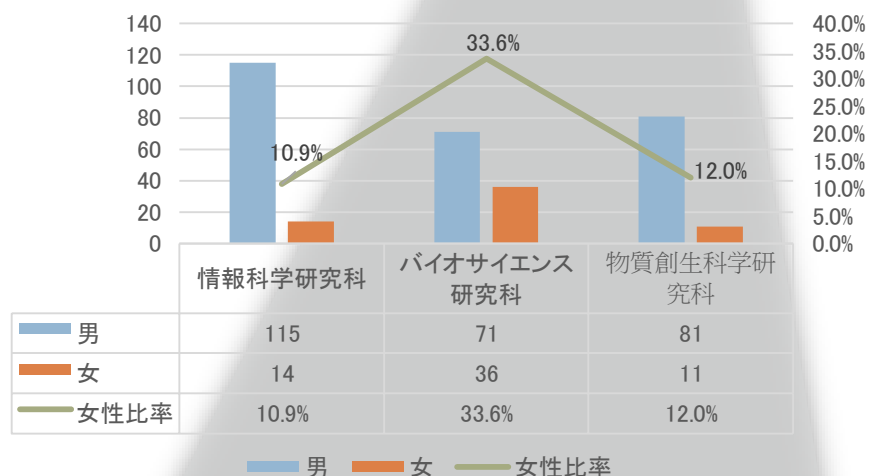
# 女子大学院生の在籍割合

2016年10月1日

## 博士前期課程



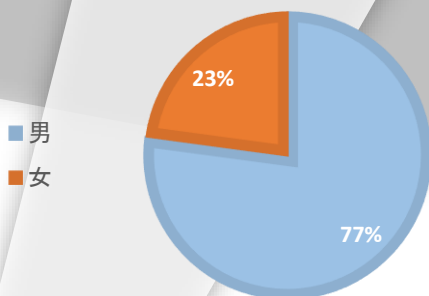
## 博士後期課程



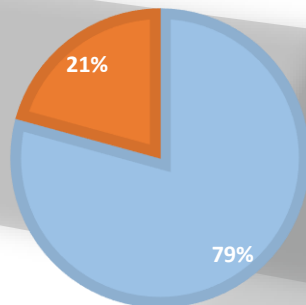
# 学生宿舎の男女別入居状況

2016年10月1日

## 博士前期課程



## 博士後期課程・研究生



- ・ オートロックです。
- ・ 各フロアには防犯カメラが設置してあります。
- ・ 上層階に女性の入居者だけのフロアがあり、男性はこのフロアに上がることができません。